

コミュニティバスの既存路線に関する運行見直しの方向性について

京成バスの自主運行により実施しているコミュニティバスの既存路線について、試験的に、土休日に限り、「さくら」と「町屋さくら」の運行ルート等の見直しを行う。

運行見直しの方向性

「さくら（右回り循環便）」

試験的に、土休日の日中時間帯（9時半頃から16時半頃まで）に限り、既存ルートと追加ルートの交互運行を実施する。【別紙 参照】

理由：昨年3月より双方向運行を開始したが、更なる需要喚起が必要である。

「町屋さくら（循環便）」

試験的に、土休日に限り、循環便のルートを縮小し、利用の多い区間の往復運行に改変する。【別紙 参照】

理由：新三河島駅から尾久橋（熊野前駅）の区間で、コミュニティバスの利用が少ない状況が続いている。そのため、運行ルート等の抜本的な見直しが必要である。

今後について

道路管理者や交通管理者、関係機関との協議を行っていく。

「さくら(右回り循環便)」の運行見直し(案)

別紙

土休日の日中時間帯(9時半頃から16時半頃まで)に限り、試験的にさくら(右回り循環便)について、既存ルート → と追加ルート → の交互運行を実施する。



「町屋さくら」の運行見直し（案）

別紙

試験的に、土休日に限り、「循環便」の運行ルートを変更し、利用の多い区間の往復運行に改変する。

